



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域・行政が共に考える「何を残し、何を手放し、何を
新たに創っていくのか！」

澤畑 佳夫 (さわはた よしお)

地方考夢員(こうむいん)®研究所代表
(一社)全国農業会議所専門相談員



○ 登録者情報

所在地

茨城県ひたちなか市

略歴

- ① 1981年1月 茨城県東海村役場に入庁
青少年センター所長、まちづくり国際化推進課長、自治推進(自治会等の相談窓口・男女共同参画・住民との協働推進)課長、住民課長、農業委員会事務局長を歴任 2019年3月に退職。

特に、農業委員会事務局長時に独自に地権者アンケート調査および**日本型ファシリテーションを活用**した農業集落座談会を実施し、大幅な農地の集積を行いました。その手法や経験を踏まえて各地で講演会や研修会の講師を務めています。現在は、複数の市町村において農業・農地活用についての地域計画の作成について支援等を行っています。また、作成後の具現化に向けたアドバイスを受けたいとの要望が増えています。
※【農業・農地活用についての地域計画とは】**農業を通じたまちづくりのために市町村が策定するもので、地域の皆さん(農業者も含む)の話し合いのもと、地域における農業の将来像を皆で考え、それに基づいて農地活用の姿を明確化した設計図を描くもので、2024年度中の完成を目指しています。**

- ②2015年2月 全国子ども会連合会表彰

著書・論文等

改訂版 地域(集落)の未来設計図を描こう! (全国農業会議所)

○ 地域・行政が共に考える「何を残し、何を手放し、何を新たに創っていくのか！」

取組の内容

現在、多くの市町村の課題となっている一つに「マンパワー不足」等からくる行政運営があります。これまでのような行政(事務局)主導・提案(説得)型の事業展開では限界があります。そこで住民(地域)と行政が共に考え、合意形成を図りながら具現化していく手法等について、元役場職員として培った「現場目線」も大切に、より具体的なアドバイスをしています。**この手法は分野を問わず、また行政以外でも活用出来ることから注視されています。**

(各種計画の支援 等)

- ① 市町村・地域の状況把握のためのアンケート・聞き取り調査
- ② 調査結果の分析および「見える化」のための絵面や地図等の作成
- ③ 地域自治組織や関係者等を一堂に会しての説明会・座談会の支援
- ④ 調査結果の報告および地域関係者の意見の把握・集約
- ⑤ 地域としての方針(取り組みの有無)の決定
- ⑥ 日本型ファシリテーションを活用した地域の魅力等の再発見・再確認
- ⑦ “ ” 目的・目標の設定および明確化
- ⑧ 目標・目的を具現化するための住民および行政等の役割分担
- ⑨ 地域や関係者等の個別相談会への対応



高校生も参加した地域座談会の指導



地域代表との個別相談への対応

実績

実績

「思いをカタチに出来る座談会(合意形成)の進め方」等としての講演および実技指導
2019年4月～2023年12月 43都府県(約400会場で実施) 受講者数 延べ約30,000人
【※2023年の実績】25府県 約100会場 受講者数 延べ10,000人
主催 農林水産省、各県、各市町村・農業委員会、(一社)全国農業会議所、
(一社)各県農業会議、各県農地バンク(農業公社)、JA、土地改良連合会、
市子ども会育成連合会 等

2021・2022年 農村プロデューサー養成講座講師(農水省主催)

2024年～現在 沖縄県中城村の地域力創造アドバイザー(農業を通じたまちづくり)として活動中

工夫した点や苦労した点

各種計画づくり等において当事者間(例えば住民と行政)で意見が対立し、その結果協議が進展しないことが多々あります。そこで、**第三者的な立場での調整(地域代表の皆さんとの個別相談会等)**や**アドバイス**も行っています。また、「**会議(話し合い)とは、お互いの意見を聴き合う場です**」をモットーに企画・運営を進めています。参加された皆さんから「自分の考え方を話せた、皆が聴いてくれた、こんなやり方なら今度は友達も誘って参加したい」と言われることが多く、嬉しい限りです。

ひとことPR

小学校時代から継続して行っている地域(子ども会・育成会、ジュニアリーダー)活動や公務員生活等において特に**失敗から学んだ経験談**等を交えて**具体的に分かりやすく説明**することを心掛けています。また、懇談会等に参加すると、まず行政が何をしてくれるのか、と言われていた場面を多く見かけるので、まずは皆さんや地域が何が出来ますか、という問い直しから始めています。そして、目先のことばかりではなく、子・孫たちの将来のことも考えて、これから「何を残し、何を手放し、何を新たに創って行くのか」という観点を重要視しています。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
○ 集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
○ 働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	○ その他 青少年活動を通じたまちづくり
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域プランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
○ その他 話し合いによる合意形成の手法	

関連ホームページ

連絡先

メールアドレス	s-gonta〔アットマーク〕ozzio.jp	携帯番号
---------	-------------------------	------

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。